

2026年5月12日

緑が丘自治会 会長 山本 正博 様
百合が丘地区社協部会 部会長 小笠原 陶子 様
一色・緑が丘地区社協部会 部会長 根岸 ゆき子 様
一色小学校元気なコミュニティ協議会 会長 廣上 正市 様

神奈川中央交通株式会社
計画担当課長 橋山 英人

「百合が丘・緑が丘地区路線バスの減便計画に関する申し入れ」について(回答)

日頃より、弊社バス事業に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2026年3月に、連名にて弊社代表取締役社長 今井宛に頂戴いたしました「百合が丘・緑が丘地区路線バスの減便計画に関する申し入れ」につきまして、社長の命により、担当課長であります、橋山より、下記のとおりご回答申し上げます。

弊社バス事業を取り巻く環境は、本格的な少子高齢化の進行による人口減少に加え、コロナ禍以降のライフスタイルの変化等の影響により、バスのご利用者数がコロナ禍前の約8割程度にとどまっており、今後も従前の水準への回復は見込みにくい状況にあります。

また、労働集約型産業であるバス事業においては、以前より運転士の慢性的な不足や高齢化が続いており、残業や休日出勤による対応を行ってまいりましたが、2024年4月より改正労働基準法等が適用されたことにより、運転士不足は一層深刻な状況となっております。

このような状況を改善すべく、弊社では2023年以降、4年連続で賃金改定を実施し、乗務員の待遇改善を図るとともに、特例教習を活用した高卒等の新卒採用、雇止め年齢の引き上げ、特定技能外国人の採用など、あらゆる施策に取り組んでおりますが、現時点においても抜本的な解消には至っていないのが実情でございます。

そのような中、弊社といたしましては、限られた人的資源(大型二種免許保持者)を需要の高い路線(幹線)へ最大限活用するためには、輸送の「効率化」および「最適化」が不可欠であり、二宮町内における交通ネットワークの維持という観点からも、様々な輸送資源を最大限に活用していくことが極めて重要であると考えております。

二宮町の公共交通に関する事項につきましては、「二宮町地域公共交通活性化協議会」および、その下部組織である「二宮町地域公共交通活性化協議会幹事会」において、前述の状況を踏まえた協議が進められておりますので、詳細につきましては、二宮町企画政策課様からのご報告をお待ちいただきますようお願い申し上げます。

何卒、諸般の事情をご賢察いただき、本件につきましてご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【事務担当】

神奈川中央交通株式会社
運輸計画部計画担当課長
橋山 英人